

清水が世界初挑戦

山陽
R5.4.28

ボクシング
7月東京
37歳「勝機はある」



ボクシングの世界戦が決まり、ポーズを取る清水聡＝横浜市の大橋ジム

2012年ロンドン五輪バンタム級銅メダリストで総社市出身の清水聡（大橋、関西高出）が7月25日に東京・有明アリーナで世界ボクシング機構（WBO）フェザー級王者のロベイン・ラミレス（キューバ）に挑戦することが27日、大橋ジムから発表された。37歳で世界初挑戦の清水は横浜市の所属ジムで記者会見し、「こつこつやって世界

戦にたどり着けてうれしい。勝機は十分ある」と引き締まった表情で話した。

清水は16年9月にプロ

デビューし、東洋太平洋フェザー級王座などに就いた。戦績は11勝（10KO）1敗。タイトルを獲得すれば長谷川穂積の35

歳9カ月を上回り、世界王座奪取の日本人男子最年長記録を更新する。ロンドン五輪でフライ級、16年リオデジャネイロ五輪でバンタム級を制した29歳のラミレスは12勝（7KO）1敗。

同じ興行では、バンタム級で世界主要4団体を統一した井上尚弥（大橋）がスーパーバンタム級世界2団体王者のステイブン・フルトン（米国）に挑む。